



三原市シティプロモーション

(Vol.4)

市民による
まちの
PRチーム

ぐっとみはら編集部

まちの「いいところ」を
「#ぐっとみはら」を
つけて投稿しよう!

記事を担当した
編集部長
くら



三原の好きなおとこ
海沿いや山間部の景色

活動の抱負
三原各地の「ぐっと」な情
報を発信します!!



Instagramで
情報発信中!

みはらししやないねとまりけいかく 三原市車内寝泊計画を体験取材!

皆さん「三原市車内寝泊計画」を知っていますか。これは市を「日本で最もキャンピングカーに優しいまち」にすることをめざし、キャンピングカーでの滞在型観光の定着と地域活性を図るプロジェクトです。具体的には、キャンピングカーのレンタルや、キャンプ場・道の駅やホテルなどの駐車場に車中泊スポットを設置するスペースアササービス、遊休地などを活用した車中泊イベントなどを行なっています。

キャンピングカーに 優しいまち



今回借りた車両の第一印象は、「ひろーい!!」。寝床は2人用と1人用がそれぞれ2カ所ずつあり、足を伸ばして寝てもまだ余裕があるほど広く、快適に眠れました。エンジンを切った状態でも一晩中つけられる暖房もあり、寒い季節の車中泊も安心です。皆さんも家族や友人とキャンピングカーの旅に出掛けてみてはいかがでしょうか。



▲三原市車内寝泊計画

エンジンも切っても 「暖房OK」

ぐっとみはら 編集部とは?



市民や市にかかわる人たちが集まり活動するまちの広報チームです。三原の魅力を発掘・発信しています!

まちびとライター



西本さん 横田さん

「このまちが好き!」まちびとライターが行く

三原の盛り人

vol.4

地域を盛り上げている人や、祭りなどの伝統行事を守り続けている人たちの思いを伝えます。



ゴム製のつなぎを着て泥の中のレンコンを掘り出す



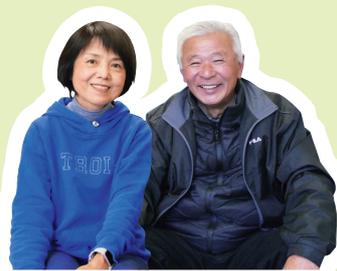
持ち上げたレンコンはととても長くて驚く参加者も多い

「三原市公式note」
で記事掲載中!



Q どんな人に参加してほしいですか?

これまでは、市内からの参加者が多かったですが、最近は大阪のご夫婦や70歳代の男性などの参加もありました。今後はさらに市外から来る人も増えてほしいですね。参加者には収穫体験だけではなく、近くの観光農園など大和町をまるごと楽しんでもらいたいです。レンコン以外にも白ネギも大和町の自慢なので、見掛けたら大和町のことを思い出してほしいです。



今回の盛り人

大和レンコンの 収穫体験

夢プラン実行組織事務局
花田 千恵美さん(左)

大和自治振興会
砂田則幸さん(右)

Q 大和レンコンの収穫体験の内容は?

大和町大草地区で行うこの体験会は、蓮田に入り、レンコンを水圧ポンプを使いながら掘り出します。泥の中での作業は大変ですが、「収穫用のつなぎを着てみたかった!」と喜ぶ人々もいます。令和4年は餅つきや地元野菜販売も行なったので、地域の人たちとの交流もできるイベントになりました。

市長 × 二十歳

二十歳のころの経験、
未来へつながりますように！



本年もよろしく申し上げます。令和5年から成人式の名称「新成人のつどい」を、「二十歳のつどい」に変更しました。これは成人の年齢が20歳から18歳に引き下げられたためですが、市では対象年齢は変えず、二十歳になられた皆さんを祝い、激励するために式典を開催します。

誰でも人生の節目において、思い出深い出来事があります。二十歳のころは特に多感で、いろいろなことにチャレンジできる時期だと思えます。私は、令和3年にご逝去されたジャーナリストの立花 隆さんが執筆した「二十歳のころ」という本を、まさに二十歳のころに読んで記憶があります。これは立花さんが東京大学で担当していたゼミの延長で書いた本で、ゼミ生たちが彼らの会いたい人に「二十歳のころに何をしていたか」取材する内容です。大江 健三郎さんをはじめ、名だたる人たちの話がまとめられており、読み応えがあります。

この本の影響もあり、私は二十歳のころが人生でとても大



※写真は令和2年新成人のつどいから。

事な時期だと信じ、多様な経験を積むことに飢えていました。大学の長期休暇を利用して、沖縄の観光地でアルバイトをしたことも、貴重な思い出です。そのときに感じた一つ一つのことを、鮮明に覚えているのも、二十歳のころの経験だからかもしれません。

二十歳を迎えた皆さん、どんな経験でも一つ一つが未来への糧となると信じれば、何事も前向きに取り組めるものです。ぜひ積極的にチャレンジして、未来を切り開いてください！

Hella! MIHARA

三原市初!ハイ出身の
国際交流員コラム

Vol.16



CIR(国際交流員)
横川あいさん



小泉小学校とニュージーランドの国際交流

11月下旬に小泉小学校と、ニュージーランドのパーマストン・ノース市にあるカーンコットスクールが、オンラインで交流を行いました。パーマストン・ノース市とは平成31年に姉妹都市提携を結び、今までさまざまな交流を続けています。

今回は、夏休み(長期休暇)の過ごし方について互いに発表し、季節や文化の違いについて理解を深めることができました。海外の学校の雰囲気など、新しい発見も多かったと思います。小泉小の児童が合唱した「翼をください」が、実はニュージーランドでも多くの児童が聞いたことがある楽曲だということにも驚いていました。今回の交流で子どもたちがお互いの国や言語に興味を持つ機会になればうれしいです。

Information for foreign nationals in Mihara

Catalog Pocket

広報誌が10の言語で読める!



Google Play



App Store

Facebook

CIRが三原の魅力などを発信中!



違う? 同じ? ハワイと三原

ハワイのお正月

移民が多いハワイのお正月は、多様な国の文化が混ざり合っています。日本風のお正月を過ごす人も多く、おせち料理や鏡餅、門松、福袋も売られていて、本格的な日本のお正月を楽しめます。



●多言語相談窓口(市役所本庁4階)

問 経営企画課(TEL 0848-67-6270 FAX 0848-64-7101)